

平成 20 年度 秋期 初級システムアドミニストレータ試験 解答例

午後試験

問番号		正解	備考
問 1	設問 1	a	ア
		b	イ
	設問 2	c	ア
		d	イ
		e	カ
	設問 3	f	ア
		g	エ
		h	ア
	問 2	設問 1	a
b			エ
c			ア
設問 2		d	ア
		e	キ
		f	ク
設問 3		g	イ
		h	エ
		i	カ
問 3	設問 1	a	ウ
		b	イ
		c	ウ
		d	ウ
	設問 2	e	ウ
		f	ウ
		g	ア
		h	エ
問 4	設問 1	a	ア
		b	ア
		c	イ
		d	イ
	設問 2	e	ウ
		f	エ
		g	エ
	設問 3	h	イ
		i	エ
		j	ウ

問番号		正解	備考	
問 5	設問 1	a	エ	
		b	オ	
		c	イ	
		d	ウ	
		e	ウ	
		f	ウ	
		g	ア	
	設問 2	h	ア	
		i	ア	
		j	ウ	
	設問 3	k	ア	
		l	オ	
		m	ア	
	設問 4	n	ア	
o		エ		
問 6	設問 1	a	エ	
		b	エ	
		c	ア	
	設問 2	d	イ	
		e	エ	
		f	イ	
		g	イ	
		h	キ	順不同
		i	カ	
	設問 3	j	ア	
		k	ウ	
		l	イ	順不同
		m	ア	
		n	イ	
設問 4	o	ウ		
	p	イ		
問 7	設問 1	a	エ	
		b	ウ	
		c	エ	
		d	ク	
		e	エ	
		f	ウ	
	設問 2	g	エ	
		h	イ	
		i	カ	
		j	エ	
	設問 3	k	ア	
		l	イ	

問 1

出題趣旨

システムの利用者から寄せられる各種問合せへの対応の善しあしは、システムの成否にも少なからず影響する。

本問では、システム導入時の問合せ対応業務を題材に、業務フローを図式によって整理する能力と、一定期間採取したデータを基に問合せ対応業務の業務改善を図る能力を問う。

問 2

出題趣旨

表や図式を使うことによって、データの意味が初めて明らかになることがある。

本問では、複数の商品の 2 年間の売上データを題材に、各種数量や比率を表とバブルチャートを使って整理し、分析する能力を問う。

問 3

出題趣旨

データ分析の準備段階として、蓄積されたデータから分析に必要なデータを過不足なく抽出する必要がある。

本問では、執務室の入退室管理を題材に、入退室記録の生データから必要なデータをまず抽出し、さらにそうして得られたデータを分析して業務改善を図る能力を問う。

問 4

出題趣旨

ネットワークの効果的な運用には、平常時に関する知識だけでなく、異常時に適切な判断を下す能力も必要とされる。

本問では、事業所内のネットワークを題材に、そこでのサブネットワークの構成とパケットルーティングに関する理解と、障害発生時にその切分けを行う能力を問う。

問 5

出題趣旨

財務諸表に関する基本的な知識は、経営者層だけでなく、広く職業人一般にも求められるようになりつつある。

本問では、ある会社の子会社を題材に、損益計算書と貸借対照表を用いて経営の実態を把握し、経営にかかわる様々な事象や、外国籍の子会社の場合には為替変動も考慮しながら経営状態を分析する能力を問う。

問 6

出題趣旨

新規システムの開発に当たっては、業務要件を具体化して、データや処理に関する要件の形に整理する必要がある。

本問では、スーパーマーケットにおける注文管理システムを題材に、データ要件や処理要件を E-R 図や DFD を使って記述し、さらに追加要件に対しても適切に対応する能力を問う。

問 7

出題趣旨

不確実な状況下での意思決定に当たっては、確率モデルを利用した分析が有効なことがある。

本問では、設備投資のための意思決定を題材に、不確実な事象の連鎖を、決定木を使って体系的に分析した上で、投資によってもたらされる利益の期待値を投資計画ごとに求める手順を表計算ソフトによって実装する能力を問う。